

2015.03.16

---

3月15日（日）、王寺町地域交流センターのリーベルホールで

歴史リレー講座「大和の古都はじめ」第6回を開催しました。

講師は、奈良県立橿原考古学研究所長の菅谷文則氏で

「飛鳥・奈良時代の玄関口『王寺』」と題して講演されました。

大和川を擁する王寺の地が古代から交通の要衝であったということを

西安寺跡での最新の発掘調査成果も交えながらお話しいただきました。

講演後には、王寺町教育委員会の岡島学芸員から西安寺跡の調査報告もあり、

大和川をめぐる古代史に興味惹かれる講座となりました。

